**2021年度　関東学生柔道優勝大会**

**大会開催に関するガイドライン**

**（新型コロナウｨルス感染対策ガイドライン）**

　当連盟主催大会については、（**公財）全日本柔道連盟「新型コロナウィルス感染症**

**（COVID 19）への対応について 段階的練習試合指針 V3\_20210210』」**および**（一社）全日本学生柔**

**道連盟「新型コロナウィルス感染防止ガイドライン」**の方針に準拠し、そこに連盟独自のガイドラインを

策定し開催します。各大学においては必ず各方針に記載されている事項を遵守してください。

なお今後の情勢により大会開催等についての連絡をする場合があるため、当連盟HPの確認を随時

行ってください。

１．大会開催時の主催者による全般的な感染防止策

１）本大会は、全日本柔道連盟の感染防止方針に準拠して開催する。

２）施設管理者と施設利用の方法について事前に十分な打ち合わせを行い、必要な措置を講じる。

３）大会は無観客とし、大会会場に入場できるのは参加者（選手・主務・役員・係員・審判員・引率者

及び監督）のみとする。

４）参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し周知するとともに、会場内の適切な場所に掲示す

る。

５）会場内の移動については、その経路を定め参加者に徹底させる。特に試合終了者が会場内に

　　　留まったり、指定場所以外で滞留したりしないよう注意徹底する。

６）大会期間中、定期的に会場内を巡回し、各事項がしっかりと守られているか確認する。

２．参加募集時の留意事項

１）参加者に遵守すべき事項を明確にして協力を求める。また、遵守できない参加者には大会参加

を取り消したり、途中退場を求めたりする場合があることを事前に周知する。

２）参加者は感染予防対策のため、マスクの着用、マイタオルの使用を心掛け、主催者より指示がな

い場合でも、「３密を避ける」「大声での発声をしない」等、自主的な予防も行うことを事前に周知す

る。

３．参加申込み時の留意事項

１）参加申込みを行う大学代表者は、別紙の

①参加確認書

②健康記録表（健康チェックシート）

を記載し、開催2週間前から全参加者の健康チェックを実施した上で、大会当日に提出をしなけ

ればならない。

＊出場選手に係わらず、所属選手全員の健康記録・管理は柔道部活動においても必要な事項であるため、当該期間中は全員分の記録を義務とする。

　２）上記とは別に、参加者（並びに補欠【補欠選手を予め決定しておく】）個人は

③大会2週間前からの、Googleフォームによる健康状態の報告

　④厚生労働省 新型コロナウィルス接触確認アプリ（COCOA)への登録

を行う。特に**③においては、当該期間中に2回以上報告を怠った場合は、本大会への参加を認**

**めない**ものとする。

３）選手変更について

大会2週間前までの選手変更については、各大会要項のとおりの手順で認めることとするが、

**PCR検査結果提出後は**感染予防の見地から一切認めないこととする。

４）代表者会議等について

大会要項のとおり、対面・オンラインのいずれでも参加可能とする。特に代表者会議については、

事前に資料を郵送するなどして、オンラインでの参加を基本とする。

５）来場の交通手段（要望）

大会会場への来場は、公共交通機関をできるだけ使わないように配慮をいただければ幸いで

ある。但し、各所属大学において、交通事故防止の観点から、自家用車等での試合・合宿への

移動が禁止されている大学等についてはその限りではない。

４．当日の参加受付時の留意事項

１）受付場所は、

①1階：理事・役員、外部委嘱審判員のみ

②2階：①以外の参加者（選手・主務・引率者・係員・帯同審判員）

なお②については主務を先頭とし、３－１）の用紙を全員分提出し、検温の後に入場する。また入

場の際に、**事前に配布する**「入場許可証」を提示すること。

引率者や帯同審判員が選手等と同時入場しない場合、全大学の受付が完了してから入場するこ

と。また入場した者が会場外に出た場合、特別な理由がない限り、開会式開始までの再入場は認

めない。

２）軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼び掛ける。

３）受付付近等の混雑するような場所では、ソーシャルディスタンス（おおむね１ｍから２ｍ）の確保に

努める。

４）受付を担当する役員・係員には、マスクおよびフェイスガードを着用する。

５）サーマルカメラにて37.0℃以上を検知した場合、非接触型体温計で再検査を行う。そこでも37.0

℃を超えていた場合、入場はできない。（選手の場合は出場不可となる。）

５．大会主催者が 留意 すべき事項

１）会場入り口・受付

①手指消毒液の設置。

②「常に一定の間隔を保ちましょう」等の掲示。

２）洗面所

①手洗い場に石鹸（ポンプ型が望ましい）の設置。

②「手洗いはハンドソープで念入りに」等の掲示。

③参加者にマイタオルの使用を求める

３）更衣室

①広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける。

②複数の参加者が触れると考えられる場所 は、こまめに消毒する。

③換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮する。

④「３密を避けましょう」等の掲示。

４）競技会場

①定期的に窓を開放し、十分な換気を行なう。

②畳の消毒は２試合毎に実施する。

③試合会場に降りることのできる人数を制限する。

④複数の参加者が触れると考えられる場所は、こまめに消毒する。

⑤「人との距離を保ちましょう」等の掲示。

５）会場の清掃

①会場の清掃や消毒方法については施設管理者の指示に従う。

②参加者のゴミは持ち帰りとする。

③借用した物品の消毒等は施設管理者の指示に従う。

④清掃やゴミの処理後は必ず手洗い、手指消毒をする。

６）待機場所（2階観覧席）

　①各大学は、指定された待機場所以外での滞留を禁止する。

　②2階通路や1階ロビー等の共用スペースでの滞留を禁止する。

７）運営

①開・閉会式は密になることを避け、表彰者の間隔を十分に空ける。開会式は指定された人数

（最大7名）のみが参加し、閉会式は3位入賞者までがマスクを着用し整列する。

②試合が終了した者は、速やかに会場内から退出し更衣を済ませた後に、指定待機場所で待機

する。

６．参加者が留意する事項

１）以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。

①体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）

②同居家族等、周囲に新型コロナウィルス感染が疑われる方がいる場合

③過去14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への

渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

２）試合を行っていない時や会話をする際にはマスクを着用すること。

３）こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。

４）他の参加者、スタッフ等との距離（できるだけ２ｍ以上）を確保すること。

５）会場で大きな声を出さないこと。（声を出しての応援の禁止）

６）感染防止のために主催者が定めた事項を遵守すること。

７）飲食は指定場所以外では行わず、周囲の人となるべく距離をとって対面を

避け、会話も控えめにすること。

８）観客席での観客間は１～２ｍ距離を取ること。

９）大会終了後２週間以内に新型コロナウィルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに

濃厚接触者の有無等について報告すること。**特に各大学の指導者については、所属大学の参加**

**者について管理徹底すること。**

７．試合を行う際の留意点

１）試合者への指示、指導は禁止。（退場が命じられる場合もある）

２）競技中のマスクの着用は不要である。

３）試合で使用する紅白帯は使い回しを避けるため、必ず各大学で出場者分の数を準備する。

（主催者は用意をしない）

８．大会期間中（経過観察2週間を含む）の体調不良者の対応について

１）大会期間中に新型コロナウィルスの可能性を含む体調不良者が確認された場合、対象者が学生

の場合は、各大学の引率者が、それ以外は大会事務局で医療機関への搬送を行う。診断の結

果、新型コロナウィルス感染が疑われる場合は速やかに保健所等に報告し、指示に従い適切に

対応する。

２）大会終了後2週間の経過観察中に、新型コロナウィルス感染が疑われる場合、各大学の指導者

は大会事務局及び最寄りの保健所等に速やかに報告し、指示に従い適切に対応する。

◎PCR検査について

　　本大会は、新型コロナウィルス感染確認検査（PCR検査）を以下の方法で実施する。

１）検査方法：

①大会事務局（以下、事務局）が指定したPCR検査業者より5月14日（金）までに届くよう大学

代表者宛にまとめてPCR検査キットを送付する。

②検査キットに同封されている使用説明書に従って、選手個々の検体（唾液）を採取

し同封の封筒で送付する。**なお個人氏名を記載する場合、別に定める大学コードを氏名冒頭**

**に記載すること。**

**例：01　関東 一郎（ゼロイチ　カントウ　イチロウ）」**

　　 ③申込時の注意として、記載する携帯番号は選手個人の携帯番号を、メールアドレスについて

は、「kanto.univ.judo@gmail.com」 （かんとう どっと ゆにぶ どっと じゅうどう＠）として、

検査結果の受信方法を「SMSとEメールの両方で受信」となるようにチェックする。

④検体は5月18日（火）必着で検査センターに送付する。

　２）検査結果：PCR検査の結果は、5月21日（金）までに選手個々の携帯電話のショートメールと

同時に事務局にも通知される。

　３）結果は「高リスク」または「低リスク」として報告される。「高リスク」と判定された場合、当

該選手は速やかに所属大学代表者へ報告し、最寄りの医療機関で再度PCR検査を受診する。

大会前日までに陰性が確認できない場合、所属チームの出場を認めない。なお代表者には事務

局からも通知する。

４）報告された検査結果等の個人情報については事務局で厳正に取り扱い、大会終了２週間後に全

　 てのデータを消去する。上記の情報取り扱いについて了承を得られない場合は、安全管理上の

対応として当該チームの出場を認めない。

５）PCR検査の実施費用については、2,700円/1名だが、今大会では1,000円/1名を連盟が負担

する。費用については、大会参加費に併せ納入すること。なお再検査の費用は全額自己負担と

する。**また１）－④の検体送付後に生じる選手変更については、全額自己負担にてPCR検査を**

**行い、その結果については代表者を通じ事務局に報告すること。**

PCR検査用　大学コード

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大学名 | コード | 大学名 | コード | 大学名 | コード | 大学名 | コード |
| 茨城大 | 01 | 城西大 | 10 | 都留文科 | 19 | 白鷗大 | 28 |
| 宇都宮大 | 02 | 城西国際 | 11 | 帝京宇都宮 | 20 | 平成国際 | 29 |
| 神奈川大 | 03 | 上武大 | 12 | 帝京平成 | 21 | 防衛大学校 | 30 |
| 神奈川工大 | 04 | 清和大 | 13 | 桐蔭横浜 | 22 | 山梨大 | 31 |
| 関東学園 | 05 | 高崎経済 | 14 | 東京国際 | 23 | 山梨学院 | 32 |
| 群馬大 | 06 | 千葉大 | 15 | 東洋大川越 | 24 | 横浜国立 | 33 |
| 国際武道 | 07 | 千葉工大 | 16 | 獨協大 | 25 | 横浜市立 | 34 |
| 埼玉大 | 08 | 中央学院 | 17 | 日本工大 | 26 | 流通経済 | 35 |
| 淑徳大 | 09 | 筑波大 | 18 | 日大生産 | 27 | 了徳寺 | 36 |

以　上